林産試ニュース

■フォレストワーカー研修

9月1日（木）に，(一社)北海道造林協会・北海道森林整備担い手支援センターが主催する『令和4年度「緑の雇用」新規就業者育成推進事業フォレストワーカー3年目研修（後期）』で13名の若手研修生が来場されました。午前中は当場研究職員から「木材の流通と木材利用」，「木材の特性について」の2コマの講義を受け（**写真1**），午後は場内施設を見学されました。

写真1　フォレストワーカー研修

■食べる・たいせつフェスティバル2022（旭川会場）

9月17日（土）に道北アークス大雪アリーナで開催された，コープさっぽろ主催の体験型イベント「食べる・たいせつティバル」に出展しました。林産試ブースでは「きのこ収穫体験」として，きのこの成長がわかる動画を見ていただいた後に，菌床（おが粉と養分を固めたきのこ培地）から出たきのこ（くじ引きで「しいたけ」，「えぞゆきのした」，「たもぎたけ」から1種）を摘み取ることを通して，きのこの不思議な生育に触れていただくことができました（**写真2**）。

写真2　きのこ収穫体験

（林産試験場　広報担当）

北森カレッジニュース

■立木調査・選木実習in美深町（1年生）

1年生は1泊2日で美深町での立木調査・選木実習を行いました。

1日目は班ごとにトドマツとグイマツ雑種F_1の2箇所の林分で，20×20mの標準地調査を行い，プロット内の伐採木を選定しました。生徒たちはササが深い美深の山に悪戦苦闘しながら頑張っていました。

2日目は美深の道有林内にある松山湿原と，道産木材が使われている仁宇布小中学校を見学しました。松山湿原では風雪に耐え抜いたアカエゾマツなど，高層湿原ならではの景色を楽しんでいました。

【立木調査の様子（1年生）】

■長期就業実践実習（2年生）

2年生は，3回目の長期就業実践実習を行いました。これで学院のカリキュラムとしては最後のインターンシップとなり，いよいよ就活も大詰めとなってきそうです。卒業まであと半年，悔いの残らないよう学生生活を楽しんでもらいたいと思います。

（北海道立北の森づくり専門学院　二木 美帆）

【ドローンによるレーザー測量（2年生）】

林産試だより　2022年10月号

編集人　林産試験場
HP・Web版林産試だより編集委員会
発行人　地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
森林研究本部　林産試験場
URL：http://www.hro.or.jp/fpri.html

令和4年10月3日　発行
連絡先　企業支援部普及連携グループ
071-0198　北海道旭川市西神楽1線10号
電話　0166-75-4233（代）
FAX　0166-75-3621